原単位の改善のための取組に関する状況 【2026年度提出分（2025年度実績）】※非特定事業者用

株式会社水みらい広島
（MIZUMIRAI HIROSHIMA Corporation）

銘柄コード	
法人番号	9240001043189

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	36	水道業
細分類（申請事業）	3600	主として管理事務を行う本社等
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	

エネルギー総使用量	229,218	GJ	5,914	kℓ
前年度エネルギー総使用量				kℓ
非化石エネルギー総使用量		GJ		kℓ
調整後温室効果ガス排出量		t-CO_2		

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業におけるエネルギー消費原単位※注（2025年度実績）		原単位分母				
	主たる事業の構成割合					%
事業者全体のエネルギー消費原単位対前年度比	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
事業者全体の5年度間平均原単位変化（%）						

※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】

種別	合計量	
Jクレジット		t-CO2
－	－	t-CO2
－	－	t-CO2
－	－	t-CO2

【電気の需要の最適化】

主たる事業における電気需要最適化評価原単位（2025年度実績）		原単位分母				
DR実施日数						
事業者全体の電気需要最適化評価原単位対前年度比	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
事業者全体の5年度間平均原単位変化						

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標（2030年度）	25.0%				
直近5年度間の実績値	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
					38.2
目安設定業種					
目安（2030年度）					
目標（2030年度）					
直近5年度間の実績値	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目安設定業種	－		－		
目安（2030年度）	－				
	－				
目標（2030年度）	－				
直近5年度間の実績値	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
					－

【ベンチマーク指標の状況（合理化）】

ベンチマーク区分		
目指すべき水準		kℓ/t以下
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分		
目指すべき水準		kℓ/t以下
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分	－	－
目指すべき水準	－	
ベンチマーク指標の状況	－	
ベンチマーク区分	－	－
目指すべき水準	－	
ベンチマーク指標の状況	－	

【取組の概要：業界の事情等を考慮した取組について（定量指標）】

世界的な脱炭素の潮流を受け、電力利用者には自ら電力使用量を制御して電力の受給バランスを調整するデマンドレスポンス（DR）が求められています。水道事業は年間約74億kWh（全国の電力の約0.8%）の電力を消費しています。また、昨今の電力費高騰が経営に大きく影響したため、当社が管理する水道施設でDRによるGX（グリーントランスフォーメーション）に取り組みます。

【取組の概要：業界の事情等を考慮した取組について（定性的事項）】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項

〇省エネ機器の導入、ポンプや圧縮機などの効率的な運転、浄水運転管理の最適化によりエネルギー消費を削減
〇デマンドレスポンス参画によるCo2削減
〇浄水発生土の再利用強化
〇公共交通機関での通勤やエアコンの温度を適切に設定するなど、環境に配慮するよう従業員へ周知

2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項

〇ハイブリッド車両の導入

【取組の概要：カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄（カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について）

2. 関連リンク

（水みらい広島　SDGsの取組）	：	https://www.mizumirai.com/sdgs/
（水みらい広島　CSR）	：	https://www.mizumirai.com/csr/
	：	

（注意事項）
・赤枠囲み欄は必須記載です。
・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。